

第七講 前二千年紀～前一千年紀のメソポタミア

バビロン第一王朝	1763	1595	ハンムラビ・法典・ヒッタイトの侵入
カッシート朝	1595	1157	エジプト・ヒッタイトの抗争・エラム
バビロン第四王朝	1156	1046	アラム人の侵入
バビロン第十王朝	732	730	813 アッシリアのバビロン占領
アッシリア	745	612	ティグラト・ピレセル 3 世
四国対立	612	538	ネブカドネザル
アケメネス朝	550	331	538 新バビロニア・525 エジプト征服・ インダス川にいたる大帝国建設

ウル第 3 王朝とアムル人

アムル (Amurrū : アッカド語)、マルトゥ (mar.tu : シュメール語)

アモリ人 (旧約)

ウル第 3 王朝時代に初めて史料に言及される

傭兵や農夫、役人として雇用され、メソポタミアに浸透

イシン・ラルサ時代 (前 2004 - 1763 年)

アムル人系の諸王国

イシン、ラルサ、バビロン、マリなど

アッカド人やシュメール人と同化

イシン : メソポタミア南部

リピト・イシュタル (前 1934- 24 年)・・・法典編纂

ラルサ : イシンの南東

リム・シン 1 世 (前 1822 - 1763 年)・・・塩地化対策

バビロン第一王朝 (古バビロニア王国 : 前 1894 - 1595 年)

スムアブム (前 1894- 81 年)により建国

ハンムラビ (前 1792 - 50 年)

第 6 代目の王

イシン奪取 (前 1784 年頃以前)

ラルサ併合 (前 1764 年)

マリ破壊 (前 1759 年)

アッシリア征服（前 1757 年）

法典編纂

サムス・イルナ（前 1749 - 12 年）

第 7 代目の王

南部諸都市の反乱と独立

エラムの独立

カッシート人の侵入（前 1741 年）

サムス・ディタナ（前 1625 - 1595 年）

第 11 代目の王

ムルシリ 1 世のヒッタイト軍侵攻→バビロン第一王朝滅亡

カッシート朝（バビロン第 3 王朝）

カッシート人(Kassites)：カッシュ (Kaššu：アッカド語)、ガルズ (Galzu：カッシート語)

言語系統：孤立した言語（印欧語やセム語とは無関係）

フッリ・ウラルトゥ語と関連

印欧語の名前の存在→支配層は印欧語族

庶民はフッリ・ウラルトゥ語

ザグロス山脈ロリスタン州から侵入？

前 1741 年、メソポタミアに現れる

傭兵や農業労働者としてメソポタミアに定着

前 1570 年頃、バビロン占領

前 1460 年頃、海の国を征服

バビロニア文化を積極的に取り入れる

公用語はバビロニア語（アッカド語）

バビロニアの歴史上最も長く続き安定した王朝

エジプト、ヒッタイト、ミタンニ、アッシリアと外交・通商関係構築

西アジアの通称ネットワークのセンターとしての機能

前 1365 年以降、アッシリアの攻勢始まる

エラムとの紛争

前 1225 年、アッシリアの占領と支配

前 1216 年頃、バビロンの自立回復

前 1158 年頃、アッシリアに大敗

エラムの侵攻とバビロン占領

ハンムラビ法典等の略奪

前 1157 年、エラムに大敗

前 1155 年、カッシート朝滅亡

都市連合から領域国家への国家体制の再編

塩地化への対策から運河網を構築し農地を新開発

バビロン第 10 王朝（アッシリアの支配）

ティグラト・ピレセル 3 世（前 744 - 727 年）

帝国時代の基礎を築く

前 744 年～前 736 年、ウラルトゥ遠征

前 734 年／前 732 年、シリア・エフライム戦争

前 731 年／前 729 年、バビロニア遠征

アッシリア王がバビロン王を兼任するか代理の王を置く

バビロンは反乱を繰り返した

サルゴン 2 世（前 722－705 年）

バビロンの反乱と鎮圧

センナケリブ（前 705 年- 681 年）

前 703 年、バビロンの反乱

前 692 年、バビロンの反乱

前 689 年、バビロンの反乱鎮圧

エサルハドン（前 681 - 669 年）、

前 671 年、エジプト征服

アッシュールバニパル（前 668－627 年）

前 667 年、メンフィス占領

前 663 年、テーベ占領

前 662 年、エラム征服

前 652 年、バビロン（シャマシュ・シュム・ウキン）の反乱（-前 648 年）

アッシリアの滅亡

前 625 年、新バビロニア独立と戦況の悪化

前 614 年、メディアの侵入

前 612 年、ニネヴェ陥落

前 609 年、ハランの亡命政権滅亡